
電子機械設計・製作I

第7回 標準機製作報告書作成

青木悠祐
小谷進

牛丸真司
大沼巧

スケジュール



- **第4回 (5/10)**
 - 標準機部品作成
- **第5回 (5/17)**
 - 部品動作確認
 - 標準機統合
- **第6回 (5/24)**
 - 標準機統合
 - 組合せ動作確認
- **第7回 (5/31)**
 - 標準機製作報告書作成

スケジュール



- **第8回（6/14：中間試験後）**

- **作業報告会**

- 1チーム10分（質疑応答含む）
- 共通部分はできるだけ省略
- 概要、不具合情報、今後どうして行きたいか etc

- **班別DR**

- 1：教室 2：3F実験室 3,4：クリエイティブラボ
5：演習室

標準機開発完了

- **第9回（6/21）**

- **製品企画**

前回の作業



1. 標準機統合

- 各ボードの固定 [MIRSMG4D-MECH-0003](#)
- ケーブル接続 [MIRSMG4D-TECH-0002](#)

2. 組み合わせ動作確認

- ENC信号のパルス抜け確認 [MIRSMG4D-TECH-0003](#)
- ArduinoとRaspberry Piの通信 [MIRSMG4D-TECH-0001](#)
- 走行テスト(直進走行・転回) [MIRSMG4D-SOFT-0004](#)
- 走行制御ゲイン調整
- 標準機統合試験 [MIRSMG4D-SYST-0009](#)

3. 標準機製作報告書の作成 (1,2と並行して2名程度)

- 作成過程を記録
- 評価結果 (確認波形の掲載)
- 動作確認中の不具合報告 (フォーマット)

本日の作業



1. 組み合わせ動作確認 【作業コード14標準機統合試験】
 - 走行制御ゲイン調整

2. 標準機製作報告書の作成 【作業コード03ドキュメント整備】
 - 作成過程を記録
 - 評価結果（確認波形の掲載）
 - 動作確認中の不具合報告（フォーマット）

3. 標準機製作報告会のプレゼン準備 【作業コード03】
 - 1チーム10分
 - 共通部分はできるだけ省略
 - 概要、不具合情報、今後どうしていきたいか etc.

不具合報告書のリンク



- MIRS190x-REPT-0001標準機製作報告書の中に「不具合情報」の項を設け、そこから不具合報告書のファイルにリンクを貼ってください

- 例：
1. はじめに
 2. 標準機製作過程
 1. . . .
 2. . . .
 3. 標準機単体機能試験 評価結果
 1. . . .
 4. 標準機統合試験 評価結果
 1. . . .
 5. 不具合情報
 1. [電源ボード短絡故障](#)
 2. [エンコーダコネクタ逆接続](#)
 3. [エンコーダパルス抜け](#)

報告会プレゼン資料



- MIRS190x-PRSN-0001 標準機製作
報告会のドキュメントを作成し、
プレゼン資料をアップロード、
ファイルにリンクを貼ってください

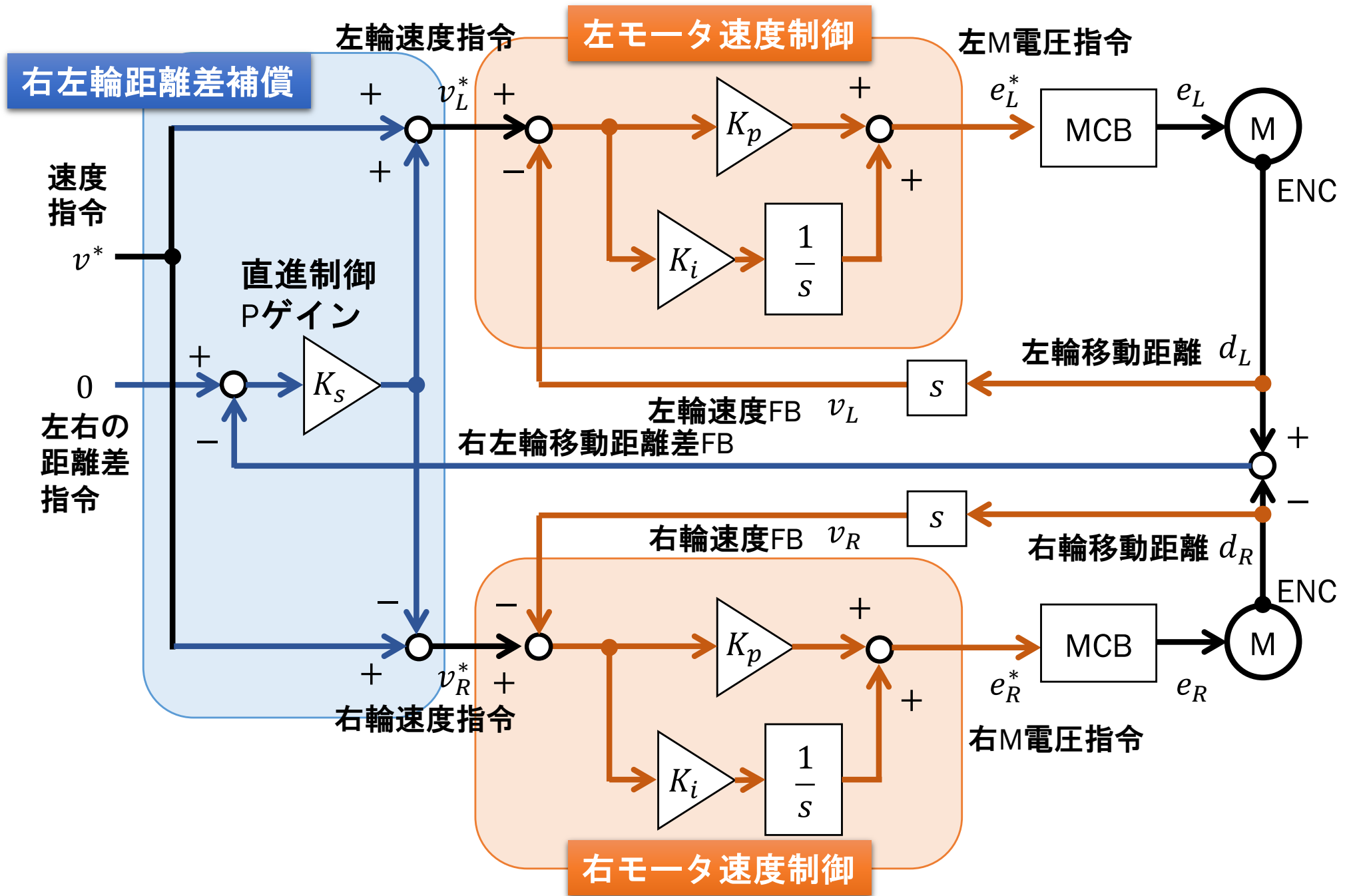
全チームアップロードを
お願いします。

直進制御ゲイン調整



- 直進制御（比例制御）のPゲインを変更
 - ※ Arduinoの`run_ctrl`にある`Ks`という変数
 - デフォルト値に対して数倍, 数分の一に変更し直進動作がどのように変化するか調べる
 - 正常な直進性が保てるゲインはどの範囲か？
 - 大きくし過ぎるとどのような動きになっていくか
 - 小さくし過ぎるとどのような動きになっていくか
- 文字による記述や動画で記録しておき、考察とともに標準機製作報告書に反映

直進制御ブロック線図



その他注意



- 作業したことをノートにメモしておく
- 適宜、写真を撮って記録しておく
- 最後に各自で作業日報を記入
 - 作業コードは以下のようにする
 - 「11:標準部品製造・試験」
 - 「12:標準機機能試験」
 - 「14:標準機統合試験」
- 全員必ずやれることはある！
 - まず自ら探す
 - わからなければ聞く、調べる
 - PMが働きかける